

平成 22 年度第 2 回講演会および懇親会のご案内

1 平成 22 年度第 2 回新潟大学東京事務所講演会

- 1.1. 日時：平成 23 年 1 月 29 日（土）14:30～16:40
- 1.2. 場所：CIC 東京国際会議室（定員 80 名）
- 1.3. 開会の挨拶 下條 文武 新潟大学長
- 1.4. 講演

（1）「共生」のかたち—中国古代の図像を読み解く—

講師：關尾 史郎 氏 新潟大学教授 人文学部・学部長

【概要】多民族国家・中国は、古代以来、その版図に、漢族以外の多くの民族集団をかかえていました。これらの非漢族は、時には支配者である漢族に敵対し、またある時には、漢族から蔑視と差別を受けてきました。そのような蔑視と差別に根拠を提供したのが、華夷思想です。しかし漢族と非漢族が、長い時間をかけて相互依存的な関係を築いて来たことを忘れてはならないでしょう。とくに非漢族が早くから生活を営んできた周縁（辺境）地域では、日常的な接触・交流があったと考えるべきでしょう。

ここでは、西北地域である現在の甘粛省における事例を取り上げて、考えて見たいと思います。この地域は本来遊牧民族の勢力範囲でした。またシルクロードによって西方から来た交易商人が定住します。彼らとの共生なくして、この地域の開発や発展はありえなかったと言っても過言ではないでしょう。

ここでは、墓に施された図像を読み解きながら、このような問題の一端について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

【講師略歴】1980 年 上智大学博士課程 単位取得

1985 年 新潟大学人文学部

2009 年 新潟大学現代社会文化研究科教授

（2）「ビジネスから見たアジア太平洋地域の課題

—経済の不均衡と為替相場・地域の成長戦略—

講師：渡辺 喜宏 氏 （財）国際通貨研究所 専務理事・ABAC 日本委員

【概要】日本経済が今日低迷している中で、（1）アジア太平洋地域の成長と世界経済の構造変化として、超大国・アメリカへの挑戦。（2）金融危機の収束と長引く調整での米中二国間の動き（3）APECでの検討と成果「地域の持続的経済成長による全ての人々の繁栄」を目指す中で、この地域統合のもたら経済成長効果とネガティブインパクトは何か？地域統合への道筋として、TPP・アセアンプラス3とアセアンプラス6などが検討されている。（4）域内での国境を越えたビジネス展開に向けて—アメリカの目指すものはEase of Doing Business、サプライチェーンの強化、女性のエンパワメント、金融資本市場の統合、環境と資源の制約など、APECに参画し、どんな事が議論され、世界の経済動向からの課題を解説します。

【講師略歴】1970年 東京大学法学部卒業、東京銀行入行。

香港、ロンドン、台北などの海外勤務を経て、(株)東京三菱銀行専務取締役グローバル企業部門長、(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ専務取締役を務め退任。

2008年6月より(財)国際通貨研究所専務理事に就任。

なお、2007年8月安倍首相(当時)にABAC(APECビジネス諮問委員会)日本委員に任命され、2009年1月から同金融・経済作業部会長を務める。

2008年4月日本商工会議所日印経済委員会常設委員長、2008年6月三菱UFJ銀業顧問。

2010年4月京都大学非常勤講師。

著書:「イスラム銀行とイスラム金融」(共著、PHP出版2009年)

1.5. 閉会の辞 鈴木輝雄 新潟大学東京イノベーションクラブ会長

* 事前申し込み制で、どなたでも聴講可能。

2. 新潟大学東京イノベーションクラブ平成22年度第2回懇親会

平成23年1月29日(土) 17:15~18:45 CIC東京509号室

2.1. 挨拶 鈴木輝雄 新潟大学東京イノベーションクラブ会長

2.2. 挨拶 仙石 正和 新潟大学理事・副学長・東京事務所長

2.3. 乾杯

講演会の講師および新潟大学の下條学長以下理事などを囲み、新潟大学の酒を飲みながら懇親を深めて頂きます。

2.4. 中締め

* 本懇親会はクラブ会員限定で会費は3,000円です。

当日、クラブ会員への入会も可能。

正会員: 法人(入会金10,000円、年会費10,000円)、個人(入会金1,000円、年会費1,000円)

以上